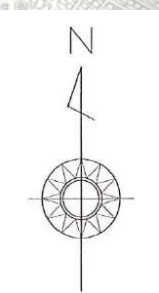


建築審査会添付図書記載例
(法第48条)



目標となる地物は、最寄りの駅や市役所など誰もが知っているものとし、名称は見やすい文字で表示し枠で囲む。

〇〇駅

原則、図面右上に記載することとし、他の図においても、記載位置及び表示を合わせる。

申請地文字は、赤字で記載し枠で囲む。

申請地

申請地は赤色塗りつぶしとし、見づらい場合は、赤枠で囲む。

用途地域の表示は、都市計画図の表示と合わせた記載とすることとし、凡例(図内にあるもののみ)を法の条項順に記載する。

△△市

凡 例	
表 示	用 途 地 域
	第二種中高層住居専用地域
	第一種住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域
	工業地域
	指定のない区域 (市街化調整区域)

下図は市町村の都市計画図等を利用し、周辺の地形地物、道路及び鉄道等を表示することにより、できる限り申請地の位置関係が分かりやすい表示とする。

市境がある場合は、2点鎖線で表示する。

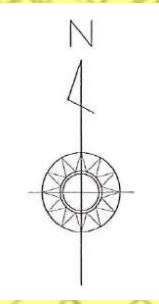
〇〇市

枠のサイズは25mm×100mmとする。(以下図面共通)

市を跨ぐときは、市名を記載し、用途地域を着色する。

図面名称、縮尺、図面番号は図面右下に記載すること。なお、縮尺は1/10,000程度とする。

図面名称	都市計画図		
縮 尺	1/10,000	図面番号	1



第一種住居地域

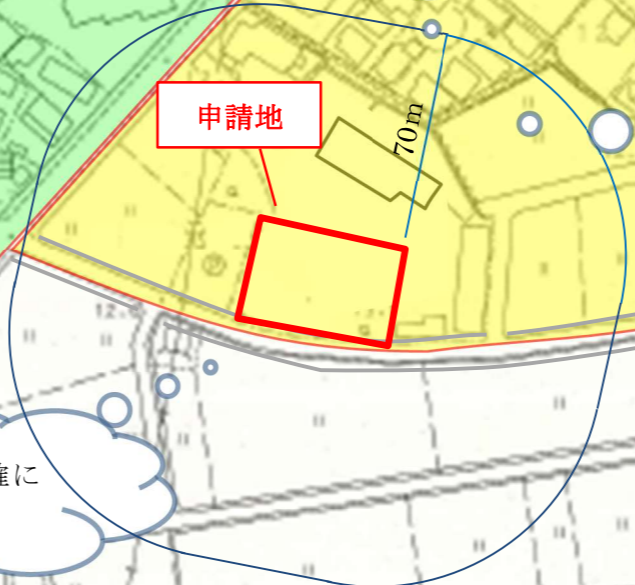
原則、図面右上に記載することとし、他の図においても、記載位置及び表示を合わせる

申請地から70m（準住居地域の場合は20m）の範囲を青線で示す。

用途地域の表示を都市計画図の表示と合わせることで、当該用途地域が分かるように表示する。
（市町村をまたぐ場合は、市町村ごとに表示する）

第二種中高層住居専用地域

申請地周辺については、現況に合わせて都市計画図を修正する。



申請地は形状を正確に赤枠で囲む。

市街化調整区域

市街化調整区域も表示する。
（市町村をまたぐ場合は、市町村ごとに表示する）

図面名称、縮尺、図面番号は図面右下に記載すること。なお、縮尺は1/2,500程度とする。

図面名称		付近見取図	
縮	尺	1/2,500	図面番号
			2

計画概要

用途地域	第一種住居地域		
主要用途	自動車修理工場併用店舗		
構造・階数	(増築部分) 鉄骨造平家建 (既存部分) 鉄骨造平家建		
敷地面積	3,082.95 m ²		
	増築部分	既存部分	合計
建築面積	708.80 m ²	201.60 m ²	910.40 m ²
延べ面積	630.80 m ²	201.60 m ²	832.40 m ²
建蔽率	2.96/10		
容積率	2.71/10		

凡例

○	雨水樹
⊗	汚水・雑排水樹
⊙ ⊗	最終樹
▲	敷地出入口
△	建物出入口
□	増築部分
■	既存部分

境界線から躯体までの距離を記載する。

敷地が公園、広場、水面、線路敷等に接する場合は、()で記載する。
例：隣地(水路)境界線

騒音対策を明示する。

建蔽率・容積率は分数表記とし、議案書と整合させて小数第2位までとする。

既存部分はグレーに着色し、新築・増築部分は青枠とする。

Exp.Jがある場合は明示する。

公聴会で意見があった場合等、審査会での説明に必要な事項を適宜図面に記載する。

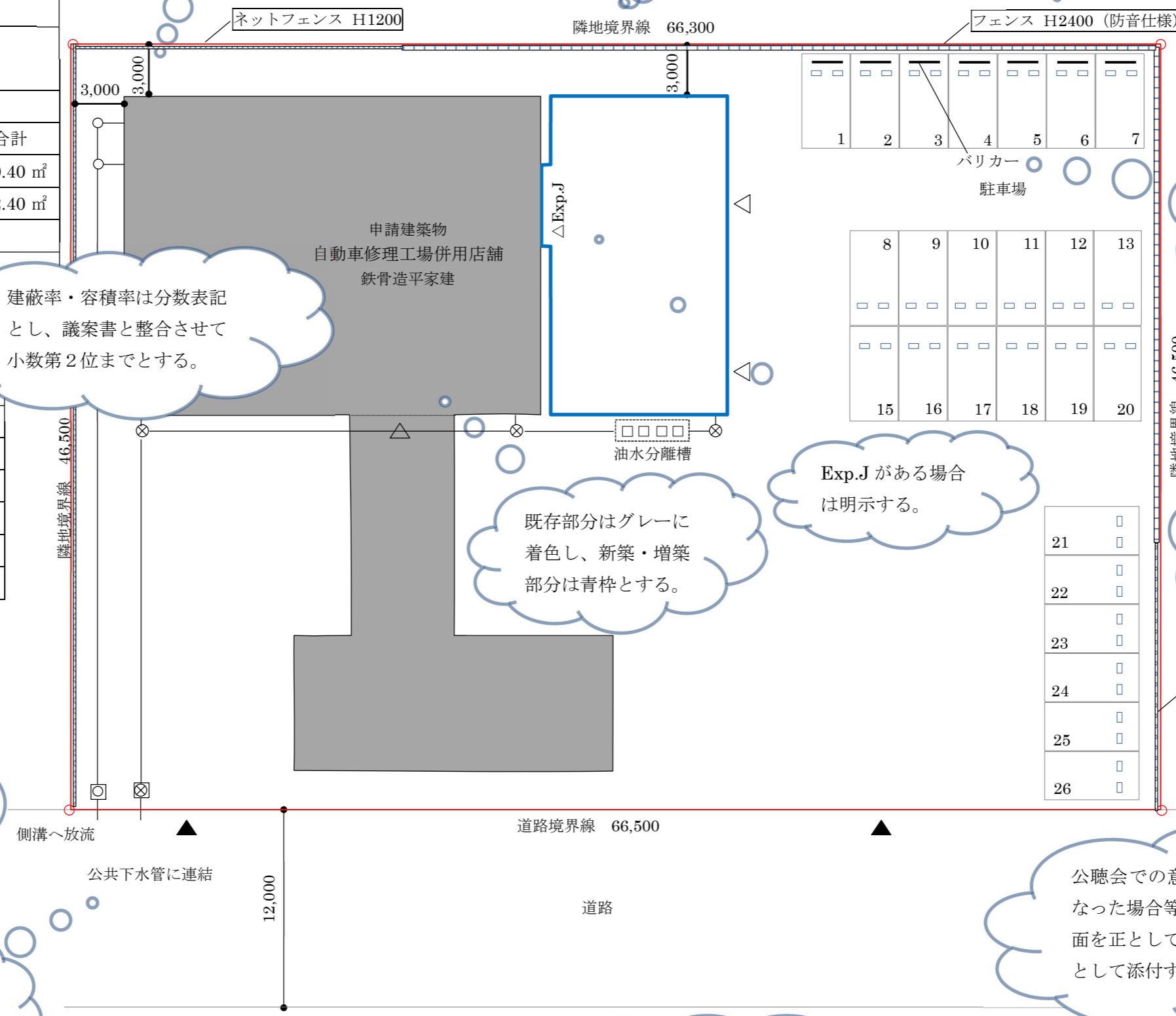
敷地境界線は赤色とし、寸法(単位はmm)を敷地の外側に記載する。

雨水樹、汚水樹、雑排水樹、最終樹、敷地出入口、建物出入口
新築・増築部分、既存部分の凡例を記載する。

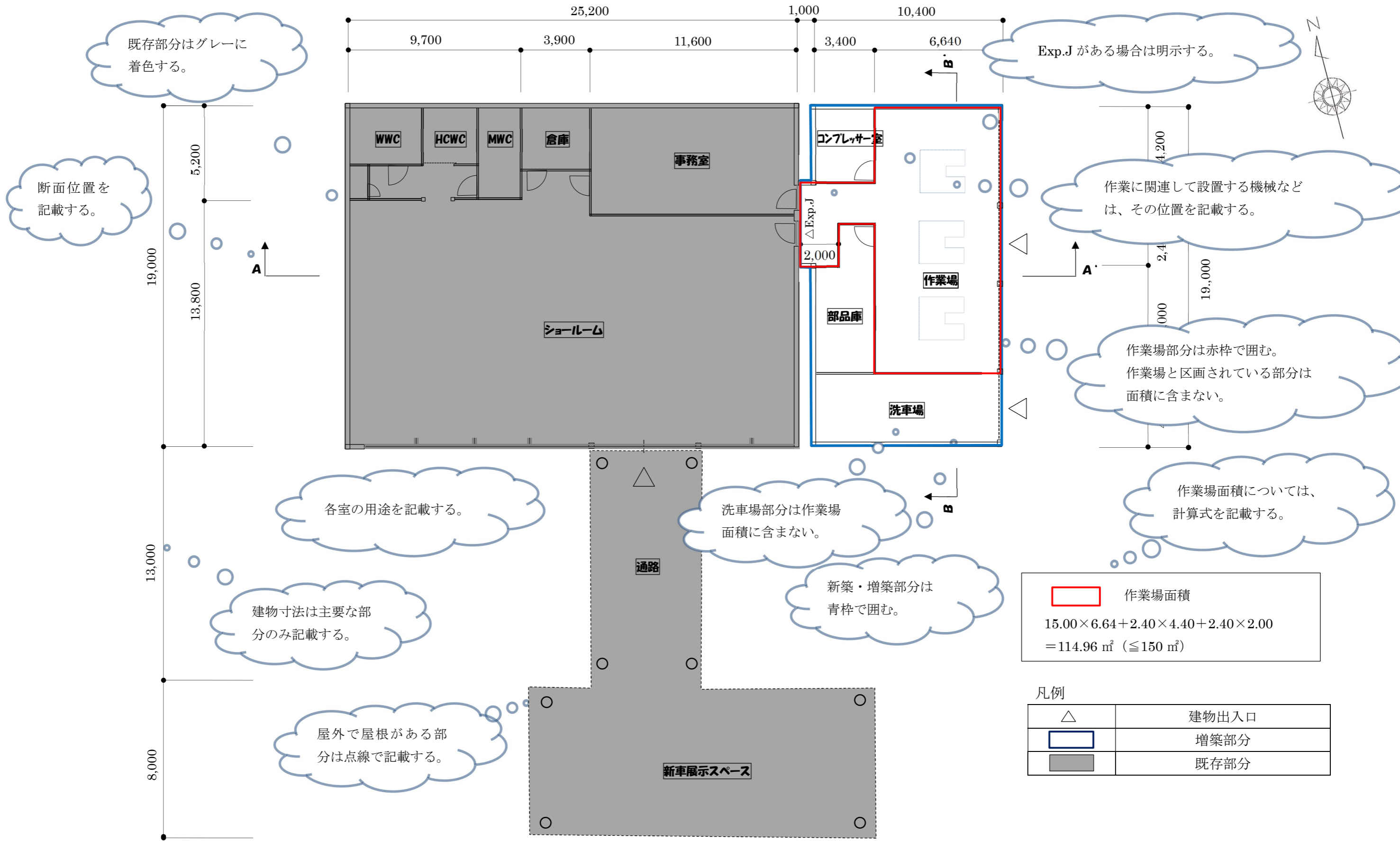
雨水、汚水、雑排水等の放流先を記載する。

公聴会での意見により計画が変更となった場合等については、変更後の図面を正として、変更前の図面を参考図として添付する(以下各図面共通)

図面名称、縮尺、図面番号は図面右下に記載すること。なお、縮尺は1/200~1/600程度とする。



図面名称		配置図		
縮	尺	1/300	図面番号	3



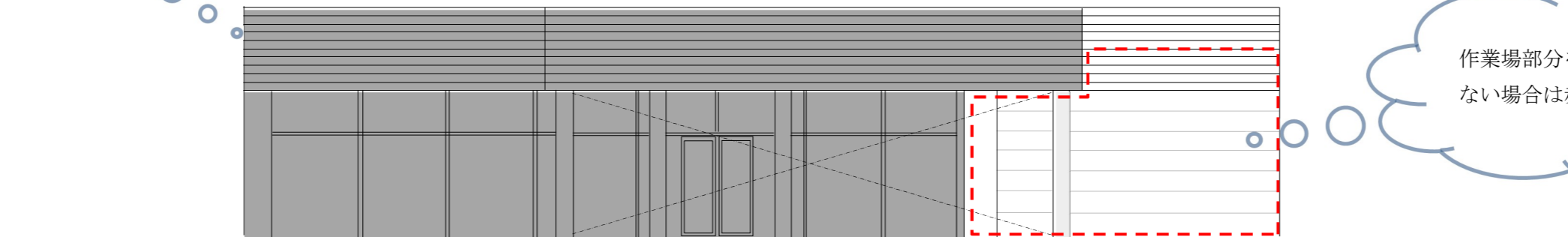
作業場面積
 $15.00 \times 6.64 + 2.40 \times 4.40 + 2.40 \times 2.00$
 $= 114.96 \text{ m}^2 (\leq 150 \text{ m}^2)$

凡例

△	建物出入口
□	増築部分
■	既存部分

図面名称	1階平面図		
縮尺	1/200	図面番号	4

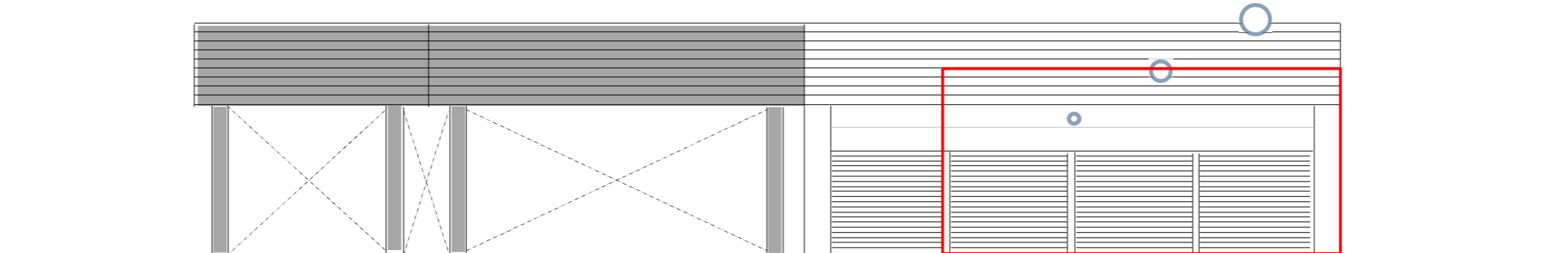
既存部分はグレーに着色する。



作業場部分を赤枠（見えがかりでない場合は赤破線枠）で囲む。

南立面図

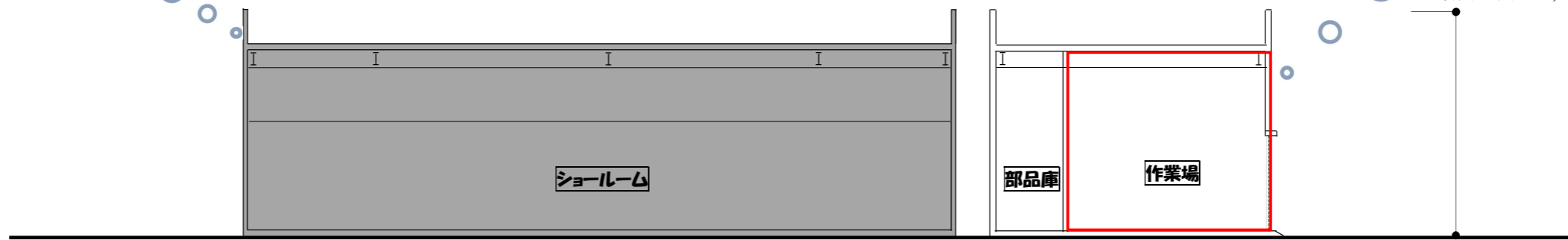
許可の対象となる作業場部分の開口部（シャッター等）を有する面を図示する。



東立面図

図面名称	立面図		
縮尺	1/200	図面番号	5

既存部分はグレーに着色する。



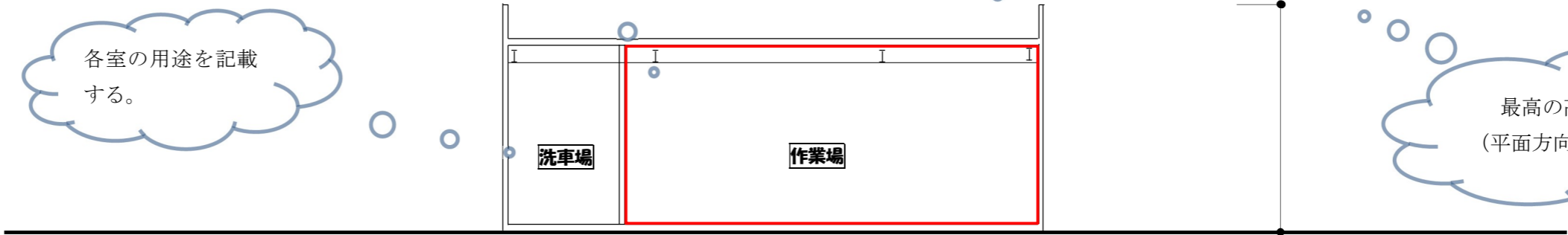
許可の対象となる作業場部分を赤枠で囲む。

A-A' 断面図

奥の壁等は図示しない。

許可の対象となる作業場部分の断面を記載する。

各室の用途を記載する。

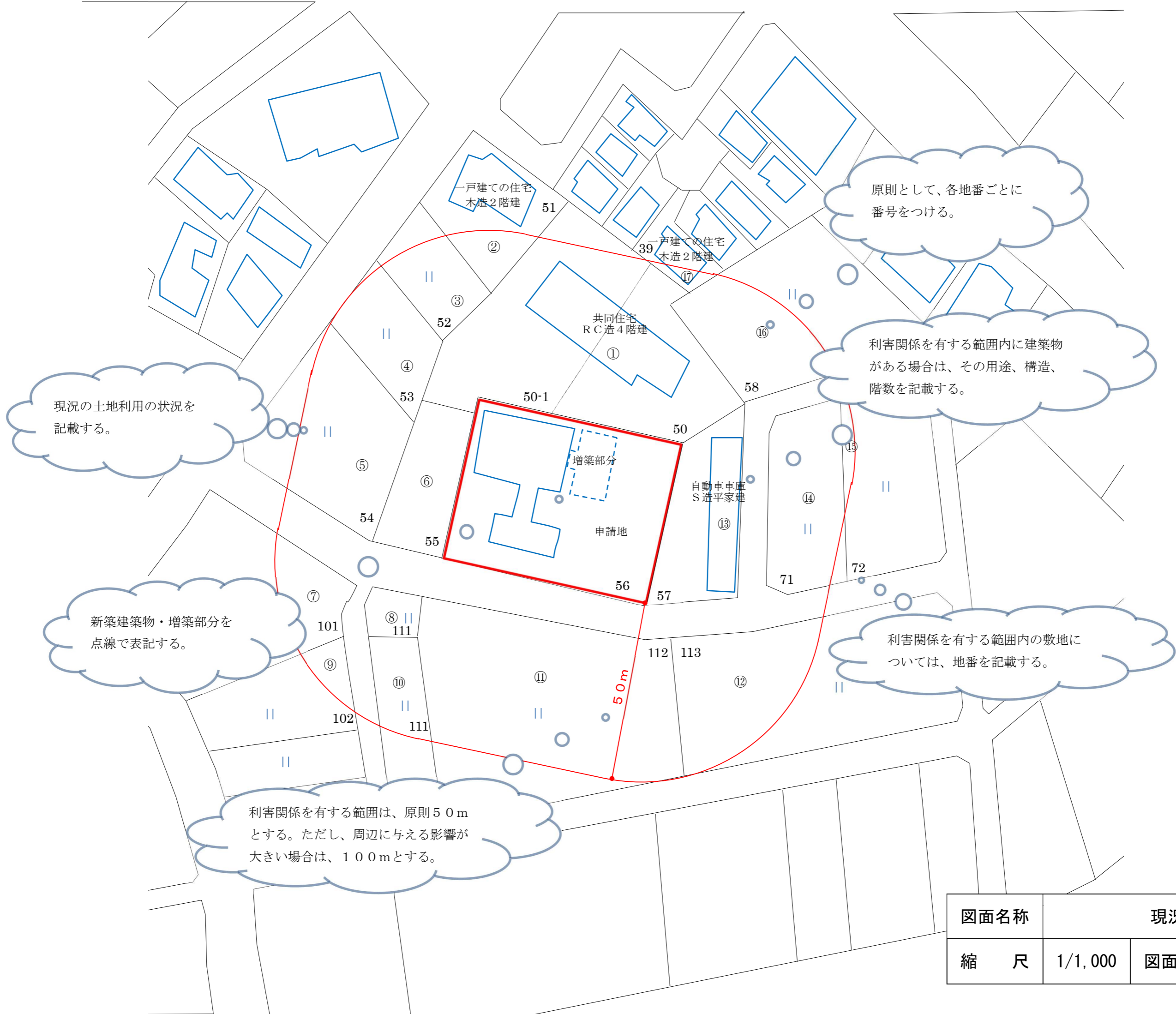


最高の高さを記載する。
(平面方向の寸法は記載不要)

地盤面以下は記載しない。

B-B' 断面図

図面名称	断面図		
縮 尺	1/200	図面番号	6



現況の土地利用の状況を記載する。

新築建築物・増築部分を点線で表記する。

利害関係を有する範囲は、原則50mとする。ただし、周辺に与える影響が大きい場合は、100mとする。

原則として、各地番ごとに番号をつける。

利害関係を有する範囲内に建築物がある場合は、その用途、構造、階数を記載する。

利害関係を有する範囲内の敷地については、地番を記載する。

図面名称	現況図		
縮尺	1/1,000	図面番号	7

番号	町名	地番	地目	土地		建築物		利害関係者数
				所有者の住所・氏名	権利者の住所・氏名	所有者の住所・氏名	権利者の住所・氏名	
①	〇〇町大字〇〇字〇〇	50	宅地	名古屋市中区〇〇〇 愛知 太郎		名古屋市中区〇〇〇 愛知 太郎	〇〇町大字〇〇字〇〇50 101号 愛知 次郎	1,2
							〇〇町大字〇〇字〇〇50 102号 △△ △△	3
							〇〇町大字〇〇字〇〇50 201号 △△ 〇〇	4
							〇〇町大字〇〇字〇〇50 202号 □□ □□	5
							⋮	6
							⋮	7
							⋮	8
							⋮	9
	〇〇町大字〇〇字〇〇	50-1	宅地	豊田市〇〇町〇〇〇 豊田 三郎		①と同じ	①と同じ	10
②	〇〇町大字〇〇字〇〇	51	宅地	〇〇町大字〇〇字〇〇51 尾張 花子		〇〇町大字〇〇字〇〇51 尾張 花子		11
③	〇〇町大字〇〇字〇〇	52	畑	〇〇町大字〇〇字〇〇51 尾張 花子				-
⋮								
⋮								
⑰	〇〇町大字〇〇字〇〇	39	宅地	〇〇町大字〇〇字〇〇39 〇〇 〇〇		〇〇町大字〇〇字〇〇39 〇〇 〇〇		20

累計で記載し、重複する場合は空欄（-）とする。

図面名称	利害関係者名簿		
縮 尺	—	図面番号	8